

# からだを動かし・ 頭で考え・ 心に感ずる とは…

安曇野市堀金出身の文芸評論家・作家・教育者である臼井吉見氏の言葉。昭和42(1967)年3月に中学生に行った講演会の中で語った言葉の一つ。50年以上たった今もあせることなく、これからも求めていきたい安曇野の子ども像です。

また、臼井吉見氏は小説『安曇野』の作者です。

小説『安曇野』はクラウドファンディングによりいただいた寄付を活用し、1,100セットを復刊し公立図書館や小中学校に配布しました。

『安曇野』は、東京で中村屋を創業した相馬愛蔵氏と良(黒光)氏の夫妻、近代彫刻の先駆者の荻原守衛(碌山)氏、私塾「研成義塾」を創設した教育者の井口喜源治氏、社会運動家の木下尚江氏の5人を中心に、明治から昭和までの激動する社会、文化、思想と人間像を描いた作品で、大河小説と呼ばれています。



## 概要版

# 第1次 安曇野市教育振興 基本計画

令和7(2025)年度～令和10(2028)年度

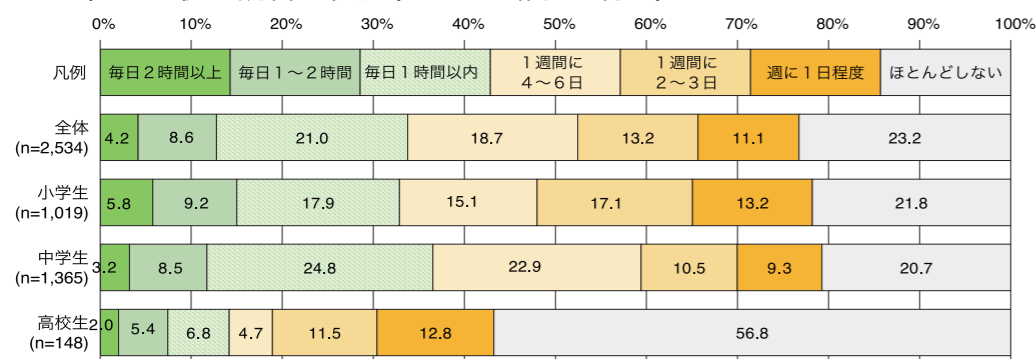
安曇野市・安曇野市教育委員会

## 安曇野市子ども読書活動推進計画もあわせて策定しました

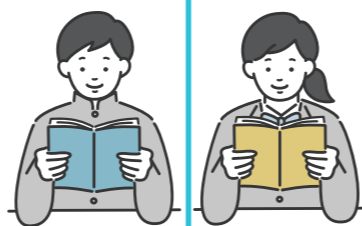
豊かな教養を養う上で、読書は非常に有効な方法であり、必要不可欠なものです。

幼少期の家庭での読み聞かせをはじめ、様々な場面で本に触れて活用する経験を重ねられるよう支援します。

児童生徒の読書の状況(マンガや雑誌は除く)



一日、どれくらい本を  
読んでいますか?  
たくさん本がみな  
さんを待っています!



資料: 安曇野市議会・安曇野市教育委員会『『子どもの権利』に関するアンケート』(令和6(2024)年)

安曇野市・安曇野市教育委員会  
〒399-8281 長野県安曇野市豊科6000番地  
TEL 0263-71-2000 FAX 0263-71-5000



計画書本編は二次元コード  
からご覧いただけます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 基本理念

●すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかわり高い安曇野を目指します。  
●からだを動かし、頭で考え、心に感ずる、未来を拓くたくましい安曇野の子どもを育みます。

## 現状と課題

これまで安曇野市は「教育大綱」に基づき、教育に関する幅広い分野で、それぞれ計画を策定してきました。今回は、これらを統合し、安曇野市の教育行政の方向性を明確にすることにしました。

## 計画のねらい

- 本市の教育の目指すべき姿と方向性、事業の進め方などを明らかにするため、教育・子育て分野のマスタープランとして「第1次安曇野市教育振興基本計画」を策定します(計画期間:令和7(2025)年度~令和10(2028)年度)。
- この計画は、教育分野において本市総合計画に次ぐものとして、教育委員会の所管事務全般を統括して管理するものと位置付けます。なお、地方教育行政法第1条の3の教育大綱を兼ねるものとします。

## 基本方針

### 1【子ども・子育て】

子ども・若者が健やかに成長し、安心して暮らせるまちの実現

### 2【学校教育】

郷土愛と未来を切り拓く力を育む魅力ある学校教育の実現

### 3【家庭・地域との連携】

学校と家庭、地域等との連携による豊かな学びと心の育成の実現

### 4【生涯学習】

生涯を通じ学ぶ喜びを実感できる地域の実現

### 5【スポーツ】

スポーツを通じて心や体を健やかに育む地域の実現

### 6【文化芸術】

文化芸術を育むとともに歴史・文化遺産を継承し続ける地域の実現

## 施策目標

1 地域資源を活かした質の高い教育・保育の提供

2 困難を有する子ども、若者、家庭への支援

1 協働的・探究的な学びの充実

2 郷土への愛着と誇りを育む学びの充実

3 健やかな心身と豊かな心の育成

4 きめ細かな教育・支援の充実

5 安全・安心な教育環境の整備

1 学校と家庭、地域の連携による教育体制の整備

2 地域で子どもの成長を支える仕組みづくり

3 地域全体で子どもの権利の共有

1 学習機会の充実

2 学習成果の活用

3 多様化する市民の「学び」に応える質の高い図書館づくり

4 子どもの読書活動の推進(安曇野市子ども読書活動推進計画)

1 子どもの運動・スポーツ機会の充実

2 スポーツを通じた交流・学びの促進

1 文化芸術活動の推進

2 歴史・文化遺産の保存と活用

## 具体的な取組のご紹介

### 公立認定こども園・幼稚園のあづみの自然保育

安曇野市の豊かな自然環境と地域資源に触れ、子どもたちが自分らしく、のびのびと成長する姿を見守り支える「あづみの自然保育」を推進していきます。

→計画本編19ページをご覧ください



### 安曇野市中学生キャリアフェスティバル

市内の中学1年生が、地元にある企業などを知り、そこで働く大人の姿や考えに触れる機会として、令和6(2024)年10月に第1回を行いました。自らの生き方や働く意味を考える時間とするとともに、地域の大人とのつながりを通じて郷土への愛着や誇りを育てることを目指し、今後も「安曇野市中学生キャリアフェスティバル」をさらに充実したものとしていきます。

→計画本編30ページをご覧ください



### アーティスト・イン・レジデンスの推進

東京芸術大学の学生などが安曇野市に一定期間滞在して、創作活動や市民との交流を行うアーティスト・イン・レジデンスを推進するため、拠点となる施設の整備や活動の支援を行います。

→計画本編65ページをご覧ください

